

新潟市を好きになること

白山小学校 6年 松尾 雅美

商店街の人達が話していたように、昔の新潟まつりは、もっと人が多く、盛り上がっていたそうです。昔の新潟まつりは、町内ごとで参加したり、とても楽しかったと、母が話していました。昔と今の新潟まつりはどこがそんなに違うのでしょうか。新潟市の一番大きなイベントといえば、やはり新潟まつりです。そんな新潟まつりを、もっと盛り上げることができたら、新潟市の活性化につながると思います。

まず、同じ新潟県で新潟市と、とても雰囲気似ている高田と比べてみます。実際に高田に行って感じたのは、昔の雰囲気が残っていました。それに、町を大切にしようという思いがすごく強い感じがしました。

古い建物も、たくさん残っていました。そして何より、ポイ捨てをしている人や、ゴミが地面に落ちていたりすることがありませんでした。

今の新潟市は、「古町どんどん」などで、市を盛り上げています。この行事は、小学生でも、とても楽しみにしているので、これからも、ずっとつづけてほしい行事です。でも、平気でポイ捨てをしている人や、子供もいるのにタバコをすう人、非常識な人がどんどん増えていると思います。

新潟市は合併し、人口が増えました。新たに新潟市に加わった人にも、新潟が“良い所だ”と思ってもらいたいです。そのためには新潟市をもっと良い所にしていく必要があります。

新潟市がよくなることは、新潟市に住む人、一人一人が新潟市を、好きになること、よくしようと思うことだと思います。

あと何年かして、私達が大人になったとき、建物や町並が変わっていなくても、一人一人の、新潟に対する思いが変わって、もっと新潟が“良い所”になってほしいです。

未来の新潟市、私自身も、もっと新潟を好きになっていきたいです。

私は、よく音楽文化会館を利用します。このような、大きなホールが芸術文化会館、県民会館と合わせて三つもある所はあまりないと思うので、このホール、施せつをもっといろんなことに使うことができれば、もっと良い所になると思います。その活動を見るために、人がたくさん集まると思います。新しいものをつくるまえに、今あるものを大事にすることが、大事なのでは、ないかなあと思います。